

令和元年 第5回真室川町教育委員会 会議録

令和元年8月22日（木）午前9時30分より、真室川町中央公民館研修室2において令和元年第5回真室川町教育委員会を開催した。

1. 出席委員	教 育 長	門脇 昭
	委 員	遠田 且子
	委 員	井上 夏来
	委 員	山田 敏一
	委 員	鮭延三枝子

2. 事務局出席者	教 育 課 長	高橋 雅之
	指 導 主 幹	浅沼 幸治
	学校教育係	
	課 長 補 佐	山田 千穂
	生涯学習係	
	課 長 補 佐	須田 英樹
	子育て支援係	
	課 長 補 佐	佐藤 洋子

3. 会議案件

日 程 第 1 前回会議録の承認について

日 程 第 2 教育長事務報告について

日 程 第 3 報 告

日 程 第 4 議案第29号

令和元年度（平成30年度事業分）真室川町教育委員会
事務・事業点検評価の報告について

日 程 第 5 議案第30号

令和元年度教育予算補正案の原案について

日 程 第 6 その他

日 程 第 7 閉会

4. 会議の経過

- 教育長 本日の出席委員は4名です。定足数を満たしておりますので、ただいまより令和元年第5回真室川町教育委員会を開催いたします。本日の案件は、日程第1から日程第7までとなっております。次第に従いまして、進めてまいりますので、よろしく申し上げます。
- はじめに、日程第1「前回会議録の承認について」を議題といたします。事前配布しておりましたが、皆様から何か訂正等ありますでしょうか。ご承認いただけますか。
- 一同 はい。
- 教育長 承認いただきました。ありがとうございました。
- 続いて、日程第2「教育長事務報告について」、一括して説明いたします。説明後、質問等をお伺いいたします。
- では、事務局からお願いします。
- 山田補佐 (学校教育係の事務報告及び予定を一括で説明)
- 佐藤補佐 (子育て支援係の事務報告及び予定を一括で説明)
- 須田補佐 (生涯学習係の事務報告及び予定を一括で説明)
- 教育長 ご質問等ございませんか。
- 山田委員 学校教育係のスクールコンサートについて、詳細はどのようになっていますか。
- 山田補佐 会場は中央公民館で、午前と午後の部に分け、午前は小学生対象、午後は中学生対象の予定となっています。
- 教育長 例年は小学校で行っていましたが、床に座って鑑賞するのはいかがかなという意見もあり、きちんとしたホールで聴かせたいということになりました。移動時間の問題もありましたが、ご了承いただきました。
- 山田補佐 先日の区長回覧で、有料になりますが一般の方も鑑賞できる旨を周知しています。負担金は、午前の部800円、午後の部900円です。
- 山田委員 午前と午後で内容は違いますか。小学生と中学生の理解力に合わせて内容が違うのでしょうか。
- 山田補佐 若干、曲目が異なります。オーケストラと一緒に学ぶ、歌うという部分もありますので、そういったところの内容に違いがあります。曲目は、例えば小学生の部では「ミッキーマウスマーチ」「最上川舟歌」など、中学生の部では「魔女の宅急便」「もののけ姫」の映画の曲などの予定です。山響の提供となります。
- 教育長 2年に一回、山響を呼んで、地域の子どもたちのために協力をお願いします。他にご質問はございませんか。
- 教育長 なお、学校教育関係で、9月11日の最上地区教育懇談会には遠田委員に出席して頂く予定です。

他にございませんか。

教育課長
教育長

では、続きまして、日程第3「報告について」事務局からお願いします。
(各校始業式、クマ目撃情報への対応、事故について報告)

何かご質問はございませんか。

熊の目撃情報は真中近くの畑という事で心配ですが、熊鈴やパトロールなど様々な対策を講じて頂いているところです。今後も様々な場所に出没すると思いますので、最善を尽くしていきたいと考えています。

遠田委員
教育課長
教育長

出没の時間はこういった時間帯ですか。

今回の情報では、午前9時頃です。

当日、野球部は練習が休みでしたがバスケット部が練習をしていました。子どもが集団でいるところには近づいてこないだろうと思われませんが、徒歩通学の生徒が20名弱いるということで心配されるところです。ただ、徒歩通学の生徒よりも、バス通学の生徒がバス停を降りて家まで帰るところが、範囲も広いため対応が難しく懸念されます。

他にございますか。

遠田委員

8月7日の放送大学最上学習支援推進委員会に出席させていただきました。生涯学習の一つの窓口ともなり、町の教育の基本構想にも合致するようなものがあるので、広められたらいいなと思いながら聞いてきたところです。後で資料をお配りします。

真室川町では3名の受講者がいるそうです。最上地区は県内4地区の中で受講率が低いので、なんとか上げられないかということです。入学手続きの前に無料の公開講座・講演会や子ども対象の講座などがあり、内容も充実していたので、ぜひ知って頂きたいと思います。

教育長
須田補佐

町広報の「ゆめきら」などで紹介したらどうでしょうか。

町広報の「情報あらかると」のページに受講者募集の記事を掲載していますが、教育委員会担当の記事でも紹介していきたいと思います。

教育長

プログラムが具体的に載っていると関心につながると思います。若干、費用は掛かりますが、受講していただきたいですね。

遠田委員

受講すれば大学の卒業資格や修了資格も取れるので、正式に大学に入るよりはずっと安いはずですよ。

教育長

他に報告はございませんか。

では、続きまして、日程第4議案第29号「令和元年度（平成30年度事業分）真室川町教育委員会 事務・事業点検評価の報告について」事務局より説明をお願いします。

山田補佐
教育長
遠田委員

(議案第29号を説明)

何かご意見、ご質問等ございますか。

15ページの出前講座に関して、一年間の計画は文書で送られてくるの

ですが、どこでどのようなことをやっているのかが町民に分かると申込みももう少し気軽にできるのではないかと、広報をもう少し工夫してもらいたいと思いました。また、伝承活動に関して、いつもいらっしゃる方、マニアの方の他に町民で新たにきて下さる方が少なく、もっと知って参加してもらいたいということを改めて考えていかなければならないと思いました。

教育長 新規の参加者含め、もう少し展開があってもいいのかなというのは私も感じているところです。町長もよく言いますが、祭りは地元の人が楽しんでこそ成功だと。町民の視点を大事に、ベースにということですね。生涯学習では人集めに苦しむところがあるかと思いますが、何かこういうものも考えているということがあれば紹介してください。

須田補佐 ポスターやチラシといった方法は行って、前回のスタディツアーでは、マックスバリューに掲示していたポスターを見て参加したという声もあり、地道な活動がやはり効果があるのかなと思います。また、頼りすぎではいけないと思いますが、今はSNSという媒体があり、同じような趣味嗜好を持った人が集まりやすいという性格があります。そういう方々に芋づる式に広まっていくということがあるので、町外・県外の方にはなってしまうのですが、そういうPRの仕方もあるのかなと考えているところです。また、口コミや活動内容を紹介していくということも併せてやっていきたいと思っています。特効薬のようなものはないかもしれません。

山田委員 伝承文化について、例えば、祭りって何のためにするんだろうとか、由来など理解し、掘り下げていくと各項目が生きていくのではと思います。また、全体的に、事業に対しての評価結果に数字が出てきていません。例えばこういう事業をしたらこういう本を借りる人が何人、何%増えたといったことが盛り込まれたらもっと評価として分かりやすくなるかなと思います。

遠田委員 私もその件に関して、個々の事業に関しての評価はあるのですが、その上にある目標・重点にどのくらい近づいたのかが分かるような評価があるといいかなと思います。

教育長 評価は目標の裏返しですので、そのあたりを自覚して取り組んでいくことが大事かなと思います。また、数値に関して、全てが数字では表せないのですが、出せるものは極力出していった方が評価は受けやすいかなと思います。

山田委員 11ページに関して、命の教育をしたことによっていじめが減少したなど、数字に繋がってほしい項目だと思います。13ページの生活リズムの改善とメディアコントロールについても、アンケートの結果が数字として出ていれば、今後の対策や計画に活かせるのではないかと思います。

指導主幹 各学校の生活リズムに関するアンケートがあり、学校保健委員会などで共有していて、データとしてはあります。それをもとに対策・計画を考えたりしているところです。

教育長 スペース的な問題で出せないところがありますが、今後は意識して出していくといいかもしれません。特に、来年度から教育振興計画に基づいた評価になります。その時には、目標値がありますので、どうなっているのかを毎回出していくと、だいぶ明確になっていくかなと思います。ただ、「命」と「いじめ」だけは、数字を出さない方がいいかと思います。もちろん件数が減るのは望ましいことなのですが、数だけ先行すると、経験上、学校側が「いじめ」を認知しなくなります。件数は気にしないので認めてくださいという形で、そこにしっかり対応してもらった方がいいと思います。今は積極認知なので、出せるものは出していきたいですし、少し考えながら対応していきたいところです。

他に何かございませんか。

遠田委員 16ページの男女共同参画社会パネル展に関してなのですが、男女共同参画社会の状況について、どうなっているのかなという疑問があります。公的な役職など町全体の様子は見えますが、各地区や家庭に入っていくとまだまだ遅れているところがあるように感じます。そこで、上の方から変わってだんだん下の方に浸透させようということなのでしょうが、その辺がもう少し目に見えるようにならないかなと思います。将来的には変わっていかねばいけないと思います。

教育長 教育課が男女共同参画社会の担当ではないのですよね。担当の問題ではないですが。

教育課長 行政的には、現在の所管は企画課になっています。県内的にも推進計画を策定していない、する見込みがない団体が最上地区に多いということで、昨年度県からも話があり、今年度秋くらいまでの策定が予定されていたと思います。教育課では、各課共通的な部分や教育的、啓蒙的な部分を担っていければと考えています。地道にやっていくしかないのかなというところもあり、様々な分野で取り組んでいくことが必要だろうと思います。

教育長 他に何かございますか。

井上委員 全体に関わってくることなのですが、今回「えんにち」に中学生が関わるわけですが、他にも色々な事業に中学生の活用、参加をもっと絡めていければいいのかなと感じています。大人向けのものに対してでもいいですし、中学生をスタートとしたものももっとあっていいのかなと思います。部活動に規制がかかり、その時間で何をするのかというところもあるので、大会の忙しくない時期などに参加できるようなアクションが生涯学習

の方でできればと思います。読みがしっかりできていれば国語もできるという話に関しても、今は中学生も読み聞かせをしてもらっている立場ですが、逆に中学生が小学校や保育所で読み聞かせするようなものがあればお互いにとっても良いのではないかと思います。

また、特色ある学校づくりに関してですが、例えば長期休みの作文の課題で、決められたものだけでなく町への提言として何か述べられるようなものがあればいいなと思います。普段の授業では無理だと思うので、学校側から働きかけをしてもらえればと。今は早い段階で職業や学校を選ばなければならない時代なので、自分の将来、町の将来に繋げていけるような手応えを感じてほしいと思います。中学生はその辺を分かってほしい、分からなければならない年齢ですので。

また、生活リズムの改善についてですが、小学校に入ればまとめた情報をもらえますが、幼児のいる各家庭には周知されていません。将来学力にも関わってくる大事な要素なので、先を見据えて、子育て支援、教育委員会の方から周知方法を考えて広めてもらいたいです。せっかく教育委員会の中にあるので、3つの係が共有の場を作り、もっと連携して行ってほしいと思います。

指導主幹 生活リズムに関してですが、今年度、釜淵保育所では、真室川中学校の校長先生から講演を頂いているところです。こちらは教育委員会主体で行い、連携して行っています。

鮭延委員 特別支援学級について疑問に思っていたのですが、その学級に入るお子さんの基準を、小学校に上がる全ての保護者が承知されているのでしょうか。それを判定するのは資格を持った先生だと思うのですが、それを保護者は納得した上で就学・通級を承知しているのでしょうか。

指導主幹 町では専門家チーム会議というものがあります。お子さんそれぞれの特有の気質を見ながら、それをチーム全員で情報共有して、今後のその子に合った教育がどうあるべきか年間を通して検討していく会議です。そこにはお子さんの状況、家族の思いといったものも面談等を含めながら反映し、適正な意見形成、就学が行えるよう丁寧に進めています。お子さんには幼児期から様々な特徴がありますので、その理解を深めるための保護者向けの講演会も行っています。今年も就学時健診の時に計画しています。

教育長 専門家チーム会議では、保育所・こども園の所長・園長、小学校は校長先生と担当者、また福祉関係者等がすべて集まって、気になることを共有し情報交換しています。特別支援学級に入るにあたっては保護者の同意がないといけませんので、例えば、こちらが新庄養護学校を勧めても、保護者が特別支援学級を望めば、そうなります。また、専門的な知識を要することですので、山形大学の先生に毎年、定期的に来ていただいて、担当職

員への指導や、保護者とも関わってもらうような形を取っています。

遠田委員　　今は、「みんな違ってそれでいい」というところがありますし、認められてきているのかなと感じているところですが、個性が際立ちすぎたところのある子が特別支援学級に振り分けられてしまうのではないかと。その辺はどうでしょうか。

教育長　　昨年「みんなの学校」という映画上映をしました。全ての子どもを普通学級に入れ、配慮を要する子とのかかわりによって、周りの子が育つという学校環境を作った話でありました。現実はかなり難しいと思います。理想はそうあるのが一番いいとは思いますが。

他に何かございませんか。

山田委員　　子育て講座についてですが、これは「子育て」ではなく「子育て」の間違いではないですか。

須田補佐　　あえての事業名です。「子育て」だと外部からというニュアンスになりますので、自ら育つ、という意図でそのような形になっています。

教育長　　他にございませんか。なければご承認いただけますか。

一同　　はい。

教育長　　では、続きまして日程第5議案第30号「令和元年度教育予算補正案の原案について」事務局より説明をお願いします。

佐藤補佐　　(子育て支援係の予算補正案の原案を資料に基づき説明、
子ども子育て支援法の改正等に伴う当町の対応方針について説明)

山田補佐　　(学校教育係の予算補正案の原案を資料に基づき説明)

須田補佐　　(生涯学習係の予算補正案の原案を資料に基づき説明)

教育長　　何かご質問等ありませんか。ご承認いただけますか。

一同　　はい。

教育長　　ありがとうございます。では、日程第6「その他」に進みます。

佐藤補佐　　(子育て支援係の関係条例、規則の改正予定について説明)

教育長　　ご意見・ご質問等よろしいですか。他にありますか。

佐藤補佐　　(えんにちへの子育て支援センターの参加について補足)

須田補佐　　(中川木鈴鎮魂忌展、昔話展等今後の計画について補足)

教育課長　　(教育委員学校訪問日程、次回教育委員会の日程調整について説明)
(ふるさと給食について補足)

教育長　　その他ありますか。

それでは、全体を閉じますが、よろしいですか。

では、日程第7「閉会」となります。

ありがとうございました。

一同　　ありがとうございました。